

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【県社会人リーグ 1部】

▼第8節

vs コワダスポーツクラブ 6-1 ○

▼第9節

vs フットワーククラブ 4-2 ○

Youth

【県 U-18 リーグ】

vs 神奈川工業高校 1-1 △

vs 商工高校 3-2 ○

vs 瀬谷西高校 1-1 △

Junior Youth

【県 U-15 リーグ】

vs 湘南ミラネーゼ 2-2 △

小6

【第44回横浜国際チビッ子サッカー大会】

vs FC 緑 0-4 ●

vs 二俣川 SC 0-6 ●

小4

【A-LINE リーグ】

☆S チーム

vs WOF オールスターズ 2-0 ○

vs 葉山 JGK 9-0 ○

小3

【キッズサッカーフェスティバル U-9】

▼午前

vs 逗子 ALL Z-A 1-2 ●

vs ダビデ FC 2-1 ○

vs 川崎ジュニア FC 2-1 ○

▼午後

vs 葉山 JGK 2-0 ○

vs FC しらゆりシーガルズ 0-1 ●

vs 公田 SSS 0-1 ●

【区リーグ】

vs 三ツ沢ダックス 2-0 ○

小2

【第44回横浜国際チビッ子サッカー大会】

☆A チーム

vs バディーSC-S 0-13 ●

vs 横浜 GSFC-A 0-3 ●

Papas

☆Comp

【県四十雀2部リーグ】

vs 小田原シーガルズ 40 2-1 ○

☆Rec

【県四十雀2部リーグ】

vs 大和四十雀 1-0 ○

vs Jクラブシニア 1-1 △

vs コロコロ倶楽部 0-2 ●

☆Over40

【市シニアマスターズ】

vs 神工 OB 3-0 ○

vs YSCC 0-1 ●

『かながわクラブと私』第5回

かながわクラブでは、ジュニアユースの3年間大変御世話になりました。私自身DFの選手としてプレーをしていましたが、クレーバーというには程遠く、また



足元の技術もなく、ただ少し身体が大きいくらいのパツとしない選手でした。こんな僕でしたが当時ジュニアユース監督だった内田佳彦理事長に常に考えさせられる指導を受けた成果もあり少しずつですが成長することができました。また、サッカー以外の部分でも『一人の人間』としての振る舞いや行動ということを本当に丁寧に御指導して頂きました。色々な事を吸収できる環境が本当に楽しく、またサッカーを通じて出会った最高仲間のおかげもあり、かながわクラブでサッカーができることがとても幸せでした。

ジュニアユースをかながわクラブでお世話になった後は、横浜フリューゲルスユース(現・横浜Fマリノス)ーベルマーレ平塚ユース(現・湘南ベルマーレ)ー青山学院大学体育会サッカー部でプレーをさせていただきました。その後指導者としての勉強のため、筑波大学大学院へ進み、さらに5年間ドイツにてドイツ国立ケルン体育大学でコーチングの勉強をしてきました。ドイツ滞在中にはボルシアMG(大津祐樹選手・現 VVV Venlo 所属)のユースのコーチを務め、UEFAサッカー連盟公認Aライセンスとドイツサッカー協会公認Aライセンスを取得し帰国しました。

現在は大学にて講義をする傍ら、ドイツブンデスリーガ1部に所属するHannover96(酒井宏樹選手所属)の強化部スカウト担当としてJリーグの試合を視察に行きスカウティング活動もしています。

今こうしてサッカーに携わる仕事についているのは、かながわクラブで内田佳彦理事長をはじめ多くの方に出会い

熱い指導と叱咤激励を受けたおかげです。これからも何かしらの形でかながわクラブに少しでも恩返しをしていきたいと思っております。

(川田 尚弘)

川田さんは、ジュニアユース在籍時に、高円宮杯の県大会で優勝した時のメンバーです。桐蔭中学をPKで下した後、マリノス追浜に2-0、決勝ではフリューゲルスに1-0で勝った時でした。

関東大会では初戦で浦和スポーツクラブ(現浦和レッズ)に1-4で敗退してしまいましたが、その浦和が全国制覇しています。

卒業後は、足達勇輔監督(現 AC長野パルセイロ GM)のもと、ベルマーレユース在籍時に国体代表に選ばれました。

サッカークリニック10月号に、川田さんのインタビュー記事「日本人がドイツで活躍できる理由」が掲載されていますので、ぜひご一読ください。

とても忙しい方ですが、近いうちに一度クラブに遊びに来てもらおうと思っています。

(内田 佳彦)

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ3連勝】

県リーグは第8、9節が行われ、コワダスポーツクラブとは6-1の快勝、フットワーククラブとは4-2で逆転勝利でした。初勝利をあげた先月の好調さを維持し、なかなか勝利をあげられなかったチームとは思えないくらいの好調さです。

コワダスポーツクラブとの試合は、終

始かながわクラブのペースで行われた圧勝、また、フットワーククラブとは、先制するものの逆転され2-2のこう着状態が続き、後半35分に勝ち越しのゴール、その3分後のダメ押しのゴールと勝利への執念が感じられる試合でした。

今シーズンの県リーグ9戦終えて、今年のチームの特色が見えてきました。まず、今年の総得点は現時点で26点で12チーム中2位、その得点者もリーグ3位の得点をたたき出している松本選手をはじめ、例年に無いいろいろな選手が得点を挙げているのです。つまり、攻撃パターンが多くどこからでも得点できるということです。また、先発メンバーも固定されているわけではなく、その試合の相手や戦術によって変えています。さらに、今年の登録メンバーはすでにほとんど全員試合に出場しています。誰が出ても遜色の無い試合内容で、全員のモチベーションの高さがうかがえます。

逆に今年の弱点は失点も多いことです。今まで完封した試合が無く、勝った試合でも点数を取られています。点数を取られるのは仕方の無いことですが、防げた失点も多くこれからの課題になるでしょう。

さらに、今年のチームが一番すばらしいのは、まだ退場者、また累積警告(3回)での出場停止がないことです。おそらく、これは県リーグでかながわクラブだけだと思います。このフェアプレイ精神はかながわクラブの他のカテゴリーのお手本になるものだと思っています。

ここまで戦って3勝3敗3分けて順位を12チーム中5位まで上がってきました。ただ、勝ち点的には下位チームと

差が無く、予断を許さない状態は続きます。

残り2試合になりました、まだトップチームをご覧になっていない方はぜひ試合を見に来てください。これからも応援よろしくお願いいたします。詳しい日程についてはHPをご覧ください。

【TOP チームホームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam/>

(中本 洋一)

Youth

前回トリコロールを書いてから4試合、2勝2分け負けなしでここまで来ました。

10月7日に県リーグ3部最終戦となります。3年生が抜けた学校行事、アルバイトなど、相変わらず練習に来れない選手が多い中、コンスタントに来ている選手が中心となり日々のトレーニングの成果を、精一杯出してくれていると思います。前回の8試合までの引き分け試合を、何とか勝ちに持っていこうと言うことで取り組んだ成果として、さらに2つ勝つ事が出来たと言う事は、内容はともあれ選手の自信になったと思いますし、負けていないと言う事が評価できると思います。また3年生が、受験勉強の最中人数が足りないこともあり来てくれたこと、そして精いっぱいチームのために戦ってくれたことに感謝します。

残り1試合と、さらに別のリーグが始まります、またみんなで力を合わせて頑張りましょう。

(高 勝竜)

Junior Youth

こんにちは、いつもご声援ありがとうございます。9月16日に行われたU-15リ

ーグ(vs 湘南ミラネーゼ)は、2-2の引き分けでした。これまでの公式戦では連敗だったため、今回で止めることができました。私としては、ここ数試合で練習の成果が徐々に始めていると実感しており、結果に繋がったのだと思っています。かながわクラブの選手は、全体的に身体が小さく、フィジカル面では他チームに劣りますが、チームワークや勤勉性があり、難しいメニューも理解しようと努力します。今年4月の段階では、簡単なパス回しさえもできなかった選手たちが、今では私が選手時代にやっていた専門的なトレーニングまでもこなせるようになりました。以前のチームメイトのタイ人やアフリカ人選手には理解できず、練習にさえならなかった脳トレを含んだ複雑なトレーニングなど、かながわクラブの選手たちは不思議とできているんです。子供達の能力は私の想像を遥かに超えています。

来月からは、横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会の神奈川区予選が始まります。選手たちの通う中学校サッカー部と戦う可能性もあるため、ますます負けたくないという気持ちが高まるでしょう。その気持ちを本来持っている幹の枝にし、伸ばすことによって、結果として実がなるよう、選手と共に全身全霊で挑みたいと思います。

(舘 洋介)

小 6

【国チビ その1】

9月30日からはじまった横浜国際チビツ子サッカー大会は、6年生にとっては最後の市大会となります。この原稿を書いている時点ですでに2試合を消化

しており、残念ながらここまで2連敗という形でのスタートとなりました。気になるのは、セットプレーからの失点が多いことです。ゴール前では、一瞬の気のゆるみが失点につながってしまいます。集中力を切らすことなく、勇気を持って相手よりも先にボールに触らなければなりません。ボールへの出足の良し悪しは、ルーズボールの奪取率にもそのまま反映されます。

やはり勝負事で一番大切になってくるのは、ハートです。球際では絶対に負けたくないという気持ちでゲームに臨み、この悪い流れを断ち切ってもらいたいと思います。

【今取り組んでいること】

練習では、ボールを持った時、決してスピードを上げないことを伝えています。まずは、正確なプレーを心がけ、プレー中に首をふるることができるようになること、そしてプレーの選択肢を一つでも多く持てるようになってもらいたい、そう願っています。簡単に思えることほど練習を通じて習慣化させるのは難しく、また時間もかかってしまうものです。考えるサッカーへの導入期としては最重要テーマの一つでもあるため、あせらずじっくりと進めていきたいと考えています。

(鈴木 章弘)

小 5

【練習テーマ】

現在の練習・試合でのテーマとしてあげているのが①攻守の切り替えを早くする事②味方から見える位置に早くポジションをとる事の2点です。高学年になると、ボールを持っていない時の動き(オフ・ザ・ボール)・素早い判断力が必要になってくるので、ミニゲームやゲー

ムでは試合を止めてプレーの解説・選手たちに問題を出し自分の頭の中で考えるよう・自分の意見を発言してもらう様に機会を設け指導をしています。身体を動かしながら頭を使う事はとても難しい事ですが、意識して練習を続けていくうちに出来るようになっていくのでがんばって取り組みましょう。

【褒めてあげてください。】

5年生の練習中・試合をご覧になられている方はご存じかもしれませんが、私は選手を大声で怒鳴ったり、指示やチームの士気をあげる時も決してネガティブな言葉を使用しないようにしています。その理由は褒めて伸ばすことが一番やる気を引き立たせるからだと考えているからです。科学的にも能力が同じ場合、怒鳴られた子供より褒められた子供の方が伸び幅が大きい事も報告されています。試合中や練習中に指摘をしたくなる気持ちもわかりますが、保護者の方々も自分のお子さんも良いプレー・良い事をほめてあげてください。保護者の方の応援や暖かい言葉が選手のプレーの向上につながりますので、よろしくお願い致します。

(丸山 祐人)

小 4

【秋の公式戦が始まります】

いよいよ10月上旬から横浜国際チビッ子サッカー大会が始まります。春季大会と同じくA(青)とS(白)の2チーム参加となります。大会日程が重なっている為、お互い違うチームの応援する機会は少ないかもしれませんが、それぞれのチームの健闘を祈っていて欲しいと思います。また、保護者の皆様には審判、お手伝い等で色々お世話

になります。よろしくお願いします。さて、大会で選手達は勝ちたいことでしょう。もちろんコーチもどんな試合でも勝ちたいと思っています。ただ、「勝てば全てがいい」という考えでは臨みたくありません。

- ・ 普段練習していることが試合でどれだけ出来たか？
- ・ 春の大会からどれだけ自分が成長できたか？
- ・ 本気で奪いに来る相手に、どれだけ自分の能力を発揮できたか？
- ・ 自分が今なにが出来て、何が出来な
いか？(今後の自分の課題をしっかりと見つける)

と言うことも、長いサッカー人生から考えれば、もしかしたら今試合に勝つことよりも重要かも知れません。もちろん、両方できるのが一番良いのですが…。試合は普段と違う緊張感があると思いますが、出来るだけ普段通りのプレーできるように心掛けてください。保護者の方々にも雰囲気作りとして暖かい応援をお願い致します。

【大会前に再確認】

普段から課題としていることを確認して試合に臨みましょう！！

- ・ 早めの Look Up, Look Around (顔を上げ、周辺認知をしましょう。)
- ・ 早めの判断、自分の意思での判断。(何となくは NG、一番良い選択を意識する)
- ・ 味方が動いた後は、そこにスペースが出来ることを意識する。
- ・ 空いているスペースへの入るタイミングを考える。
- ・ サポートの仕方&距離。
- ・ 相手の状態に応じたディフェンスの仕

方&距離。

【チームとして】

サッカーは一人では出来ません。チームの仲間がいてはじめてできるものです。また、チームワークの良し悪しが勝敗にもつながります。同じチームの仲間を非難するよりも、落ち込んでいる仲間がいたら声を掛け、盛り上げて勝利を目指して欲しいと思います。

また、個々の諦めない気持ちも当然必要なことです。最後には気持ちの強さが勝敗を左右することも多いので、個人個人がチームの為に強い気持ちを出してくれることを期待しております。

(益子 伸孝)

小 3

【キッズサッカーフェスティバル U-9】

9/16(日)に日産スタジアムで開催された神奈川県キッズサッカーフェスティバル U-9 に参加しました。参加した選手たちは日産スタジアムの芝生のピッチに立ち「昨日のマリノス戦であの辺に座ってた！」とスタンドを指さし興奮したり、「今日はテレビ局来るの？カメラはどこ？」とあたりをきよきよ見回しはしゃいだりしておりました。それぞれのプレー時間はあまり長くはありませんでしたが、日産スタジアムという素晴らしいピッチで実際にサッカーをすることができたことは、子どもたちにとって良い思い出になったと思います。今後もこういったサッカーをますます好きになるようなイベントにどんどん参加・企画していきたいと考えております。

【最近の活動での取り組み】

最近の活動では球際で激しくプレッシャーをかける、一つ一つのプレーを大切にし雑なプレーをしない等の基本的

なことを繰り返し強調しております。逆に言うところといった基本的なことが試合や練習中にできていない子がまだまだ多いです。試合のときだけいきなり頑張ろうとしても普段できていないことが急に出来るようになることはまずありません。普段の練習のときから集中して一生懸命取り組むようにしていきましょう。

また、チームメイトを大切にすることも繰り返し強調しております。当たり前ですがサッカーはチームスポーツで一人ではできません。特定の子を仲間はずれにしたり同じチームになるのを嫌がったり、ミスした仲間を非難したりせず、ミスした仲間を周りのみんなでフォローしてあげられるような雰囲気を作っていくてもらいたいと思います。

保護者の皆様には毎回多数の方々には試合や練習会場まで足を運んでいただき、盛り上げていただきありがとうございます。また、応援だけでなく、引率や審判、準備や練習のお手伝いまでしていただき本当にありがとうございます。

(豊田 泰弘)

小 2

【国ちびについて】

小学 2 年生になって全体では初めての大会が始まろうとしています。2 チームを同じぐらいのバランスに分けて挑みますが、確かに勝つことも意識してやってもらいたいのですが、それ以上に人と成長してもらいたいと思っています。会場に向かう電車での態度、会場提供してくれたチームへの態度、応援してくれている人たちへの感謝の気持ち等いろいろなことを学べるいい機会だと思います。

【国ちびに向けて】

上にあげたこと以外にも、みんなで勝負喜びも味わってほしいとも思っています。そのためにみんなに意識してもらったのは「ボールへの意識」です。これは練習試合などを通して毎回言ってきましたが、ボールを取られたらすぐ取り返しに行くことだったり、前からどんでんプレスをかけることだったり、最後までボールを追うことだったり、当たり前かと思うかもしれませんがやってみると意外に難しいのです。しかし、このことなしでは今後絶対に戦っていけないと思います。選手にこのことだけは激しく要求しています。負けていいと思っている選手には絶対できないプレーなので、このことをチームの武器にして戦っていきたくと思います。

(近江 柔)

幼児・小 1

【100%の自由を保証！】

先日、幼児・小1の懇親会があり、その際にクラブの指導方針として「100%の自由を保証する」とお伝えしました。低学年の子どもたちは本能のままにプレーをします。本能の赴くままに、自分の好きなように、ひとたびボールを持ったら絶対に離したくはありません。実はそうした本能を上手に利用して、神経系の発達が著しいこの時期には、徹底的にボールに触れる機会を多くし、繊細なボールタッチやボールコントロールといった技術を身に付けさせたいと考えています。

そこで、子どもたちが好きなようにプレーをすること、時には我が儘なプレーと周囲の大人たちには見えようとも、徹底的にプレーをさせます。「そこはパス

だろう！」と思うのは大人の考えであって、大人のサッカーです。脳の力や体力、筋力が全く大人と異なる子どもたちに大人のサッカーの小型版を押し付けるのは意味がありません。数多くボールに触れ、たくさんのプレー機会を与えることが大切なのです。

神経系の発達が著しいこの時期にはテクニックを中心としたトレーニングを課し、技術の習得を第一と考えます。個人で打開する技術、個人で打開しようとする気持ちを育みたいと考えます。早く走ること、強く蹴ることは筋肉の発達に伴い身につくものです。ですから筋力を鍛えるトレーニングは筋肉の発達が活発になる中学生後半からで十分です。

【考える習慣！】

4本の白線で囲まれたサッカーグラウンドには100%の自由がありますが、反面自ら考えることが要求されることとなります。サッカーは野球やアメフトなどと異なりベンチの采配が勝負を左右するという確率は非常に低いと考えられます。作戦タイムがなく攻守の切り替えの際のインターバルもありませんので、試合が始まるとグラウンド外からの指示がほとんど伝えられません。また、瞬時に攻守が切り替わったり、ポジションそのものが流動的であったりする競技の特性から、グラウンド外の指示を待ってプレーを選択することは皆無です。

選手個々が自ら考えて、決断し、プレーをすることがサッカーでは求められるのです。この「考えて、決断し、プレーをする」ことは習慣づけです。常に頭を働かせていないと考えることはできません。常に「ああしなさい」、「こうしなさい」

と周囲の大人から言われ、プレーをしているようでは、サッカー(もしかすると他のスポーツも)は上達しません。

自由にプレーをすることを奨励することは、その裏側に考えるという責任を負わせることになります。自由に=自分の考えでプレーをすることで、失敗したときには、なぜそういうプレーをしたのか?と自ら振り返りかえりができるようになります。もちろんうまくいった際にも、こうしたからうまくいったという実感を成功体験とともに味わうこととなります。一つ一つのプレーに対してできるだけこうした問いかけをしながら、子どもたちの考えを引き出しています。

単に来たボールを強く蹴り返す行為には「考える」という要素の入り込む余地がありません。反射的に蹴ってしまうという表現がぴったりします。反射的にプレーすることばかりしていると、およそ考えてプレーできなくなります。パターン化した動きの恐ろしさです。常に考えてプレーをしていれば、時には反射的なスーパープレーも飛び出すことでしょう。

【サッカーを好きになって！】

100%の自由には、もう一つ大切な側面があります。それはサッカーを好きになって欲しいという側面です。最近の子どもたちは社会情勢や様々な規制によって非常に息苦しい生活を余儀なくされています。ところが昔から、子どもたちは、自由が大好きです。自分が自由にできることなら、食事をとることすら忘れ、時間の過ぎるのさえ忘れて没頭できるのです。サッカーが大好きになれば、夕方暗くなるまで、ボールを追いかけています。顔も服も真っ黒にしなが

る蹴り続けています。先月も書きましたが、そんなサッカー小僧になって欲しいと思います。

好きになれば、一生懸命に取り組みます。多少の壁があっても、好きなら乗り越えられます。一生懸命に取り組みれば、必ず上達します。上達が実感できると(成功体験を積むと)長続きします。長続きすると更に上達が期待できます。このようなサイクルが生まれると一生懸命にサッカーを楽しむことが可能になります。サッカーの楽しみ方は千差万別です。長続きすることでプロの選手になる子ども出てくるでしょう。あるいは、一生、Papás で草サッカーを楽しむ子やサッカーに関連する仕事に就く子ども出てくるでしょう。もしかするとサッカーの指導に興味を抱く子やサッカー観戦が好きな子ども出てくるかもしれません。

サッカーというスポーツの素晴らしさはなかなか1回では語り尽くせないのですが、折に触れてお話ししていきたいと思っています。いずれにしても、保護者の方々には、かながわクラブのサッカーというものをご理解いただき、ご協力をいただければと思います。

(佐藤 敏明)

Papás

【Papás は募集中！】

Papás は結成以来十有余年経ちますが、当初に一度だけ募集のチラシを作ったが、クラブのお父さんたちに配りたが、その後はトリコロールに時折告知を載せるだけで今日まで来てしまいました。というわけで、募集の告知です。

Papás はメンバー募集中です。

先ず、Papás はサッカー経験を問いません。Papás メンバーの大半は、サッ

カー未経験で入ってきました。ボールを蹴って遊んでみたい。それで十分です。

次に、Papás は今の体力を問いません。地球に降りてきたウルトラマン同様、3分間グラウンドで活動出来たら十分です。数か月で10分間サッカー出来るようになりますから。

第三に、お子さんがかながわクラブ在籍なら一緒にサッカーが楽しめます。さらに家族割引で月会費が3,150円から2,150円に割り引かれます。

第四に、あなたが40歳以上なら、あるいは40歳になったら、県シニアリーグ、市シニア委員会の公式戦に参加できます。但し別会費が必要ですが。県シニアリーグの四十雀リーグ(40歳代リーグ)の4部で勝ったり負けたりシニアサッカーを楽しんでいるチームがRecで、同じリーグの2部で1部昇格を目指して奮闘中のチームがCompです。市シニア委員会主催の交歓試合とマスターズトーナメント大会に参加しているチームがOver40です。Over40は、Rec&Compメンバーが別会費なしで自動的に参加しているほかに、Over40のみの参加(別会費)もありです。来年度は市シニア委員会にOver50チームの参加も検討中です。

Papás 全体、特にこのRec、Comp、Over40の各チームは、言わば大人の部活動ともいべき組織です。参加者でチームを創っていく、そんな組織です。

というわけで、Papás はメンバー募集中です。

(茅野 英一)

ヨーガ

【落語】

NHKで「落語でブッダ」という番組を放送していました。なんと日本の落語は、お寺の僧侶が庶民に聞かせたお説教から発展したのだそうです。

仏教の教えをひとびとに知ってもらうには、小難しい話をしても聞いてもらえません。そこで面白くて、思わず聞きたくなるようにと工夫をしたことから、落語が始まったのだそうです。そのため、実は古典落語にはブッダの教えが満載なのだとか。

番組では「書割盗人」が取り上げられていました。この世のすべてのものを「～のつもり」として繰り返されるという、思わず笑えるこのお話が訴えかけてくるのは、「空」の思想です。これは正に大乘仏教の根本原理です。すばらしい。

先日企業で1日研修を担当してきました。ヨーガで「ご自身のストレスマネジメントを行うことができるように。」という内容です。参加者の方々の立場からすれば、丸一日、講義を聞くのは大変でしょう。居眠りせずに聞いていただくには、どうすれば良いのでしょうか。「伝えた

いことを如何にうまく表現するか。」という難しい課題と向き合っているところで

落語を習ってみようかしら？

(伊藤 玲子)

理事長の戯言

【野蒜】

「のびる」と読みます。昨年の大震災で大きな被害を受けた地区です。野蒜小学校は指定避難所になっており、地震発生後には多くの住民が避難してきていました。そこに津波がやってきて、たくさんの方が亡くなりました。そのすぐそばの仙石線では、車両が流されて「く」の字に脱線しました。野蒜駅は、構内の高圧線がゆがめられ、倒されました。昨年、支援物資を届けた際に、一番衝撃を受けた地区です。

先日機会があり、1年半ぶりにそこを訪ねることにしました。小学校は、消防車が整然と並び、プレハブの建物が建てられていました。車両が脱線したあたりは、当時はがれきの山でしたが、きれいに片づけられていました。そんな中、遠くに見覚えのある家が見えました。普

通に生活をしているように見えました。

駅は、周辺が片づけられていましたが、高圧線はそのままです。「走れ！仙石線」の横断幕の横に、手書きで「ボランティアのみなさん、いつもありがとう！」とかかれたパネルが掲げられていました。線路は、草や土に埋もれたままでした。

墓地を見つけました。当時はがれきに埋もれていて、その存在さえわかりませんでした。墓石が山積みになっている区画もありました。ほとんどの墓石は、下3分の1が土に埋もれたままでしたが、その多くに花が供えられていました。

私たちの記憶から、当時の悲惨な状況は少しずつ薄れていっています。かといって、自分に何ができるわけではありません。

一日も早い復興を、心より願うばかりでした。

(内田 佳彦)

内田泰嗣税理士事務所
有限会社トップガン (ワン・ストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

横浜市神奈川区入江2-19-11
〒221-0014 大口増田ビル203号

TEL (045) 431-0408

FAX (045) 431-0488

伊藤玲子のヨーガ指導がDVDに！

グナヨーガ
GUNA YOGA

日本テレビに出演

心身ともに健康で、仕事と生活に意欲を取り戻す
身体のためのヨーガから、心身のためのヨーガへ

♪お申込み・お問合せ♪

パソコン・携帯電話から <http://www.iandon.co.jp>にアクセス

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただくと早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



☆ハンドブックについて☆
 携帯で見られるように作成いたしました。下記の URL をクリックしてご覧ください。
 クラブの理念や指導方針、各種手続き方法、注意事項、スタッフの紹介など重要な情報満載です。是非ご一読下さい。
http://www.kanagawaclub.com/HB/youji_shougakusei.html



スポーツ大好き人間のお店
 横浜アンドウスポーツ **ANDO**

至三ツ沢競技場

保土ヶ谷警察署 コーナン	国道16号 保土ヶ谷区役所	出光 GS
相鉄線星川駅		至横浜
いなげや	マクドナルド ザンクス	
交番	メインマート	
アンドウスポーツ 駐車場完備(20台) 至保土ヶ谷公園	セブンイレブン 保土ヶ谷 SPC 至国道1号	

※相鉄線星川駅下車3分・横浜新道藤塚インターより5分

アンドウスポーツ
 〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2-6-30
 ☎045-331-2461
<http://www.sports-nakama.com/as/>

スポーツで日本を元気にしよう！
スクール生募集中！

キッズ (小学生) 平日 15:45~、16:35~ ジュニア (中高生) 平日 17:25~



紫外線100%カット！
開閉式テントリニューアル



ポイント①
 学期中なら振替は
 『何回でも』OK!!

ポイント②
 インドアのオムニコート
 実践的な4面フルコート

横浜テニスカレッジ・横浜ゴルフアカデミー<白楽校>



〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町9-23
 東急東横線白楽駅下車 徒歩3分
 TEL 045-433-6622